

News Release

Hyundai Motor Group

Genesis Electrified G80 と Hyundai IONIQ 5

EV によって G20 バリ・サミットをサポートする

- 11月15日~16日にバリ島で開催される G20 バリ・サミットに 393 台の EV を提供することでインドネシアの「持続可能なエネルギーへの移行」構想をサポート
- グループはインドネシア政府と EV の引き渡し式を行い、東南アジア市場に向けて Genesis Electrified G80 を初公開
- 提供車両は、このイベントのために特別に生産された G20 ロゴ入りの Electrified G80 スペシャルエディションや、インドネシアの Hyundai 新工場で生産された IONIQ 5
- 安全性と信頼性を確保するため、グループは 520 人の大統領警護部隊を対象に訓練を実施し、サミット期間中にはピフォアサービスブースを提供



ジャカルタ（インドネシア）、2022年10月25日 - Hyundai Motor Group（以下、グループ）は、11月15日～16日にバリ島のヌサドゥアで開催される2022年G20バリ・サミットで使用する電気自動車（EV）を提供し、インドネシア政府の「持続可能なエネルギーへの移行」構想をサポートすることを明らかにしました。

ジャカルタのゲロラ・ブン・カルノ・スポーツ複合施設のテニス・インドア・スナヤンで引き渡し式が行われ、グループはGenesis Electrified G80とHyundai IONIQ 5を納車しました。このイベントで、Hyundai Motor アジア太平洋本部のイ・ヨンタク本部長は、インドネシアのプラティクノ国家官房長官にG80とIONIQ 5のミニチュアキーを象徴として手渡しました。今回、Genesis Electrified G80は東南アジア市場で初めて公開され、出席する政府関係者に試乗の機会が提供されます。

G20における優先課題の一つが持続可能なエネルギーへの移行で、エネルギー安全保障、アクセス、効率性、そしてよりクリーンで効率的な技術への投資とイノベーションを含む低炭素エネルギーシステムへの移行に焦点が当てられています。

「Hyundaiは、持続可能な未来に向けたソリューションを構築するために、技術に裏打ちされた製品づくりに取り組んでいます。インドネシア政府が掲げる“持続可能なエネルギーへの移行”を加速させるというビジョンの実現に、私たちが貢献したいと考えています。そこで、G20バリ・サミットをサポートするために、当社の電気自動車を提供します」と、Hyundai Motor アジア太平洋本部のイ・ヨンタク本部長は述べました。

Hyundai Motor GroupのEVへの貢献は、G20のテーマである「Recover Together, Recover Stronger」（共に回復し、より強く回復する）にも合致しています。比較的新しい産業であるEVは、新しい製造工程が必要で、パンデミックで打撃を受けたインドネシア経済に新たな雇用機会をもたらす可能性があります。

グループは、G20のために韓国で生産された、ピラーにG20のロゴが入ったロングホイールベースのElectrified G80スペシャルエディションを44台、標準ホイールベースのElectrified G80レギュラーモデルを87台、Hyundai Motor Manufacturing Indonesia（HMMI）が現地で生産するIONIQ 5を

262 台、合計 393 台をサミットに提供します。Electrified G80 スペシャルエディションは VIP 車両として使用され、Genesis Electrified G80 レギュラーモデルと IONIQ 5 はプロトコル、セキュリティー、およびレスキュー用の車両として使用されます。

Hyundai は、サミットに先立ち、車両のホモロゲーションの手続きと品質管理手順を行いました。また、安全性と信頼性を確保するため、西ジャワ州チカランの Hyundai トレーニングアカデミーで 520 名の大統領警護隊員を対象に、EV の使用方法と緊急時対応の訓練を実施しました。Hyundai は、G20 開催期間中、バリ島ヌサドゥアのインドネシア観光開発公社 (ITDC) に、技術者、モバイルサービスクルー、モバイル充電クルー、緊急対応などを備えたビフォアサービスブースを設置します。

EV は、大気中の排出ガスを軽減することで、環境の持続可能性と公衆衛生を維持するための新たなソリューションとなります。再生可能エネルギーを利用することで、電気自動車をより環境に配慮した形で利用することができます。企業や産業界にとって、EV シフトは、保有車両、輸送網、公共輸送車両などの総所有コストの削減に貢献します。燃料費を削減し、政府の優遇措置や税制優遇を利用することで、企業は大幅なコスト削減を実現することができます。このように、Hyundai の G20 への貢献は、EV エコシステムの開発を優先させ、持続可能なエネルギー転換を実現する EV 産業の活性化を図るために、規制の意思決定レベルで必要な会話を喚起することができるのです。

Hyundai Motor Group について

Hyundai Motor Group は、モビリティ、鉄鋼、建設に加え、物流、金融、IT、サービスを軸としたバリューチェーンを構築するグローバル企業です。全世界で約 25 万人の従業員を擁する同グループのモビリティブランドには、Hyundai、Kia、Genesis が含まれます。私たちは、創造的思考と協調的コミュニケーション、そして何事にもチャレンジする意志を持ち、より良い未来を創造するために努力しています。

Hyundai Motor Group についての詳細は、こちらをご覧ください：www.hyundaimotorgroup.com

Hyundai Motor Asia Pacific について

2019年に、アジア太平洋地域の販売、マーケティング、アフターセールス、フリート、ディーラー活動を管理するため、インドネシアのジャカルタに Hyundai Motor アジア太平洋本部が開設されました。

この地域に力を注ぐため、インドネシアの西ジャワ州チカランに PT Hyundai Motor Manufacturing Indonesia (HMMI) の生産施設を開設し、アジア太平洋地域の事業を強化しました。この工場は、チカランの 77.6ha の土地に建設され、2021 年後半から年間 15 万台の生産能力で稼働しています。また、東南アジア地域の生産拠点として高度な技術を持つ従業員や専門家を配置し、生産量の半分を東南アジアの近隣諸国へ輸出します。今後、2030 年までの製品開発と合わせて、総額 15 億 5,000 万ドルをこの工場に投資する予定です。

同社は、HMMI と同じ敷地内にある Hyundai モビリティイノベーションセンターの開発にも投資し、Hyundai のあらゆる技術革新と開発がアジア太平洋地域のお客様の希望とニーズを満たすようにします。